

Veriti Thermal Cycler の使い方

画面をタッチし、画面左下の電源マークをタッチする。

画面が表示されない場合は背面の電源をオン。(起動に10分くらいかかります)

使用できるもの チューブ...0.2ml プレート...0.2mlセミスカート

使用時、プレートはそのまま、シングル/キャップ一体型連結チューブは黒のスペーサー、
キャップ分離型連結チューブは青のスペーサーが必要です。



Browse / New Methods をタッチ。

(既定の物をそのまま使う場合)

Run Methodからプログラムを選び、Start Run。

Volumeを入力してStart Run NowでPCRがスタートする。



(既定の物を編集する場合)

Run Methodからプログラムを選び、View Edit。

(新規作成する場合)

Newをタッチ。



温度プログラムの編集方法

ステップ、サイクルの追加、削除

追加したい場所のStep番号をタッチしてAdd。

サイクルを追加したい場合は追加したいStage番号をタッチしてAdd。

削除する場合は追加方法と同様に該当場所をタッチしてDelete。



サイクル数、温度、時間をタッチして入力する。(時間は∞設定可能)



オプション機能

Ramp rate / Time ... 温度上昇、下降のスピードをコントロールする機能。

時間表示が%表示になり、通常何%で変化させるか入力する。

Auto Delta ... サイクルの途中から時間や温度を増減させる機能。

増減させ始めるサイクルを入力。そのサイクル以降、1サイクル毎に温度を何°C、時間を何秒変化させるか入力する。0.1°C、1秒単位で指定可能。



Veri Flex Step ... 96wellブロック温度を16本毎に指定する機能。

隣り合うブロックは5°C以下の差でないといけない。

Pause ... プログラムを一時停止させる機能。



全てのサイクルが入力できたらRun又はSaveをタッチ。

Saveする場合はRun Method名とフォルダを指定する。(保存しなくても実行は可能)

Runをタッチした場合はVolumeを入力してStart Run NowでPCRがスタートする。



PCRサイクルが終了したら終了メッセージを表示して止まっているのでOKをタッチする。

最終Stepを∞にしている場合はストップボタンをタッチして止める。

